

# 吉備線LRT化の検討スタート

問い合わせ 交通政策課 (☎②8249)

## 総社市吉備線整備方針等検討委員会の初会合

JR吉備線の今後の整備方針について調査・審議する「総社市吉備線整備方針等検討委員会」が設置され、3月26日、第1回目となる委員会が総社市保健センターで行われました。



3月26日に総社市保健センターで開かれた、総社市吉備線整備方針等検討委員会の初会合(写真上)。JR吉備線に乗り降りする乗客。バリアフリー化による乗り降りのしやすさが求められる(写真右)



委員会は、岡山県立大学の教授や商工観光団体の役員、市民の代表ら15人で構成。この日行われた委員会で総社商工会議所の清水男会頭が、委員長に選任されました。清水委員長は、「総

社市の将来を見据えながら、慎重かつ迅速に審議を進めていきたい」と話しました。会議では、これまでのLRT化の検討経過や昨年12月末に岡山市・JR西日本と共同で作成した吉備線LRT化基本計画素案の概要説明などが行われました。今後LRT化の費用負担をはじめ、運営や整備方針などを話し合い、市に提言。提言されたものを市がまとめ、岡山市・JR西日本との基本計画素案の協議に反映します。市長は、「総社市の50年後100年後を変える大きな話。吉備線のLRT化をやるべきか、やらないべきかをしっかりと議論していただきたい」と述べました。

# 一般分

## プレミアム付商品券を販売

総社市内の商店で使える、プレミアム付商品券(一般分)を販売します。

- 販売期間 5月下旬から12月28日まで
- 購入できる人 4月1日現在、総社市に住所を有する人(年齢制限なし)  
※対象者には4月下旬に引換券を送付していますので、引換券を持参の上、商品券を購入してください。
- 販売金額 ▶1万2000円分の商品券を1万円で販売(1000円×12枚つづり) ▶6000円分の商品券を5000円で販売(1000円×6枚)
- 購入限度額 1人5万円まで
- 販売場所 市役所、各出張所、(協)リブ
- 販売冊数 4万5000冊(先着順)
- 商品券の使用可能期間 5月下旬から12月28日まで  
※期限を過ぎると使用できなくなるので、ご注意ください。

■取扱店舗 総社市内の事業所(随時受付中)。使用できる店舗にはステッカーを掲示します。また、市ホームページなどでお知らせします



4月下旬に送付される引換券

問い合わせ 商工観光課商工労政係 (☎②8276)

# 防災情報総合ウェブサイトを共同作成

問い合わせ 危機管理室 (☎②8599)

## 浸水想定区域や避難場所を一目で確認



「防災情報総合ウェブサイト」の説明をする岡山県立大学情報工学部の宇田一平さん。市内の自主防災組織のリーダーら約200人が耳を傾けた

岡山県立大学と市が共同で高梁川や足守川の氾濫、土砂災害に備えた防災情報総合ウェブサイト(<http://sojabousai.city.soja.okayama.jp/kazoku/index.html>)を作成。パソコンの市内の浸水想定区域や避難場所が一目で確認できる電子版ハザードマップを盛り込んでいます。浸水想定区域は5段階の深さに応じ、色分けして表示。土砂災害警戒区域なども確認できます。避難施設は住所や電話番号などが分かり、地図上をクリックした地点から2km以内の施設を線で結んで表示します。そのほか、災害発生前の備えから災害時の避難行動までの流れを、「情報を得る」「情報を理解する」「災害時

に行動する」の3段階に分け、イラストを添えて分かりやすく紹介。「避難勧告」「計画高水位」といった用語の解説も載せています。3月18日、総合福祉センターで行われた自主防災組織リーダー研修会で、同サイトの開発に取り組んだ同大学情報工学部の菊井玄一郎教授、デザイン学部の齋藤美絵子講師と学生らが説明。「日ごろからの備えに役立ててほしい」と呼び掛けました。そのほか、総社高校家政科2年の小野可遥さんら5人が家庭での防災対策を発表。カップラーメンの容器は保温性が高くおわん代わりに重宝できる点や、少ない水でニンジンやジャガイモを煮る調理法を説明しました。

## 費用を助成します

### おたふくかぜ予防接種



- 対象者 平成23年4月2日以降に生まれた満1歳以上の幼児
- 助成回数と助成額 上限3000円(生涯に1回限り。今までに助成を受けた人を除く)
- 助成期間 4月1日～平成28年3月31日までの接種分
- 助成方法 ▼市内の医療機関の場合 各医療機関で定める予防接種料金から助成額を差し引いた金額を請求されるので、その額を支払う  
▼市外の医療機関の場合 医療機関に接種費用を全額支払った後で、平成28年4月15日(金)までに市子ども課へ請求
- その他 任意の予防接種ですので、目的、効果、副作用などをかかりつけ医とよく相談し、接種してください
- 問い合わせ 子ども課母子保健係 (☎②8261)

### HPV(ヒト・パピローマウイルス)検査

子宮頸がんを早期発見するため、HPV検査費用の一部を助成します。

- 対象① 4月以降に妊娠届をした妊婦
- 助成額 上限2600円(検査費用の約半額)
- 受診方法 妊婦一般健康診査の1回目に行われる子宮頸がん検診(細胞診)と併用して受診
- 問い合わせ 子ども課母子保健係 (☎②8261)
- ◆対象② 20歳～41歳の女性(平成28年3月末時点)
- ◆助成期間 7月1日～平成28年2月29日
- ◆受診方法 市内2医療機関(くにとみクリニック、谷口レディースクリニック)で受診
- ◆助成額 2600円(自己負担額2500円)
- ◆その他 ①従来の子宮がん検診は、集団健診・医療機関健診で行います ②HPV検査のみはできません ③該当する人には「がん検診等受診はがき」で通知します
- ◆問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎②8259)